

編集後記

小児新鮮外傷の治療に携わることがなくなって、ずいぶん時間が経ちます。若い先生方とともに治療に参加して、子どもたちがぐんぐん回復していく経過をみるのは、楽しいものでした。最近はおっぱら、二次障害を訴えて受診される患者様を担当するほうが多くなりました。経過をみると、最初の一步での詰め甘さに始まり、きちんとしたX線評価がされず、これら悪循環が増幅して、再建困難な状況を作り出していることが推察されます。“まれ”な外傷もときにはありますが、大部分は、基本をきちんと押さえていただければ避けられたのではないかと、残念に思います。

一方、これでもかと思われ、CT・MRIなどの検査結果を携えてこられる子どもさんもいます。確かに、外傷は1つとして同じものではなく、ここに年齢要素が加わるため複雑ではあります。しかし、CT・MRI検査を必須とするような特殊な状況はそれほど多くはなく、特に軟骨要素の多い肘関節では、CT検査で得られる情報は限られています。被曝の問題も考えると憤りすら感じます。是非、X線を熟読し、エコーを使いこなして、病態把握をする技術の向上を図っていただきたいと思います。

働き方改革の勧めから、整形外科医もチーム医療への移行が余儀なくされるかもしれません。チームで児を見守ることで、平均的医療レベルの向上が期待できるかもしれませんが、一方、団体責任は無責任になりかねなく、きめ細かな経過観察が漏れてしまうことも危惧されます。過大な自己矯正を期待したり、肘は非荷重関節だからと軽微な変形を無視したりすることなく、きちんと機能評価をして、必要な処置をしていくことが必要だと改めて思います。本特集からは、熟練医師の“後遺症を作らない”という、熱い思いが伝わり、企画の目標はクリアされたと思います。外傷治療にあたる先生方にとって貴重なガイドブックの1つになるとともに、経験豊富な先生方にとっても、治療戦略の幅を広げる一助となることを願っています。

(堀井恵美子)

令和4年6月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.41 No.6

発行：年14回（年12回発行＋増刊号2回）

編集顧問 井上 一／高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 山崎正志／田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 宮田ビル 5 階 TEL 03-3814-8541

福田商店広告部 〒540-0024 大阪市中央区南新町 2-4-3 グランドソレイユ 1 階 TEL 06-6231-2773